

- ・教員の資質向上の一環として、電子計算機室を利用してプレゼンテーションソフト講習会を実施した。

## [ 2 ] 利用状況

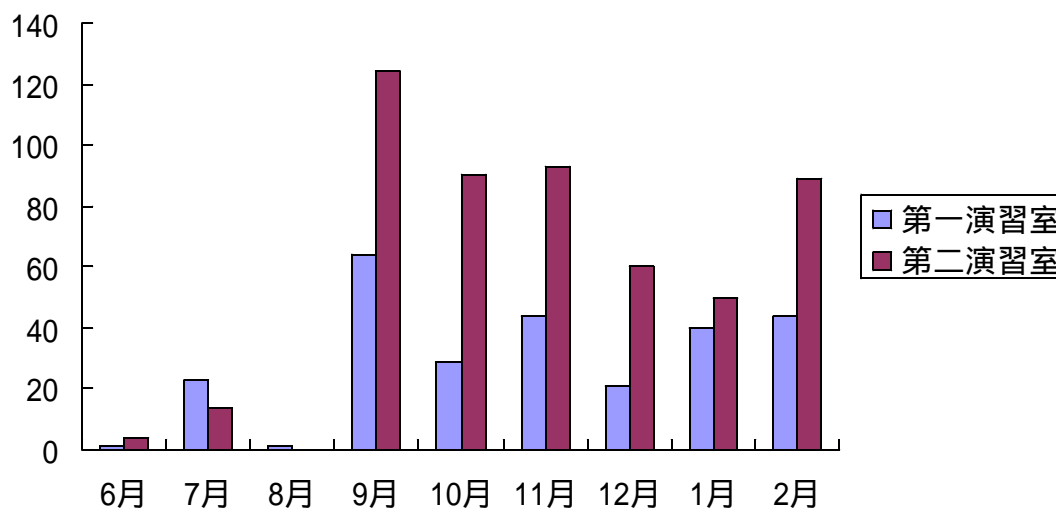
### ( 1 ) 講義

- ・第一演習室は年間630時間の利用があった。稼働率で53%程度であった。
- ・第二演習室は年間360時間の利用があった。稼働率で30%であった。  
第一演習室は50%以上と高い稼働率を示している。また、第二演習室も30%とやや低い稼働率であったが、語学教育による電子計算機室の利用が今後見込まれるため、稼働率は更に上昇することが見込まれる。

### ( 2 ) 時間外利用

平成15年度からICカードキーによる「入室管理システム」を導入した。そこで、本格的に稼働させた6月以降の学生が自主的に利用した時間外利用の月別の利用件数を下の図にまとめた。

図3.5.1 電子計算機室の時間外利用件数



稼働当初は学生の認知度が低かったせいか、少なかったが夏休み明けの9月以降利用件数が増加している。第一演習室は267件の記録が残っており、一日平均1名以上の利用が、第二演習室は524件の記録が残っており、一日平均2名以上の利用があった計算になる。平成16年度以降は更に利用の増加が期待できる。

## 3.5.4 図書館の整備と利用状況

### [ 1 ] 整備状況

- ・視聴覚機器  
閲覧室AV視聴コーナーに、平成4年6月設置されたビデオ視聴装置3台のうち2台を平成15年度にDVD/VTR視聴型に更新し、平成13年3月設置したCD/DVD装置1台と合わせて4台の視聴覚機器が設置されている。
- ・所蔵検索用端末及びインターネット用パソコン

閲覧室には、所蔵検索用端末（OPAC）2台及びインターネットコーナーには、5台のパソコンが設置されている。

・電子ジャーナル等

平成15年度は、長岡技術科学大学を中心とするコンソーシアムには、新外国雑誌目次データベース及びSD（Science Direct）に参加しており、平成16年度には、ACS（American Chemical Society）、AIP / APS（American Institute of Physics/American Physical Society）、IEEE - ASPP（Institute of Electrical and Electronics Engineers Inc. ALL-Society Periodicals Package）及びMath SciNet（American Mathematical Society）にも参加する。

・蔵書

平成15年度の図書受入冊数は、共通図書203冊、教員研究図書242冊及び製本雑誌90冊であり、平成14年度より535冊増加し、蔵書冊数75,312冊となった。

また、各学科・科教員により閲覧室及び1・2階書庫の蔵書の見直しを行い、約6,800冊の図書を抽出し、所蔵スペース確保のため、平成16年度以降に処分を予定している。

**[2] 利用状況**

平成15年度の入館者数、貸出人数及び貸出冊数を平成14年度と比較すると、入館者3,835人増加、貸出人数970人増加、貸出冊数2,008冊増加となっている。

図書館活性化活動としての、ブックハンティング、図書館を利用した授業の実施等による効果があったものと思われる。

なお、平成15年度の月別の利用状況を次表に示す。

表3.5.2 平成15年度における図書館利用状況

月	4	5	6	7	8	9	
入館者数	3,546	4,664	4,231	3,105	811	4,902	
貸出人数	391	505	277	262	48	266	
貸出冊数	672	928	569	667	74	502	
月	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数	3,729	3,168	3,436	2,995	3,492	1,902	39,981
貸出人数	249	254	258	279	227	104	3,120
貸出冊数	502	462	575	550	416	275	6,192

**3.5.5 実習工場の整備と利用状況**

**[1] 整備状況**

板、直方体の製作、キー溝加工等に縦フライス盤を使用しているが、内1台は本校設立当初からの物で相当ガタがきており、特にY軸のバックラッシュは1mm近くあり、普通寸法公差が出しにくい状態である。

設備更新をして頂き、その際NC化もして頂き、実習においても高精度な部品加工、及び今までは加工出来なかった形状の部品も加工できる高度な実習を行えるようにして頂きたい。

なお現在実習工場に設置されている設備は以下の通りである。